

## H29 年度執行分 地方創生推進交付金活用事業実績報告

	事業名 (事業期間)	申請 区分	事業概要	A. 計画額 (交付額)	B. 実績額 (交付額)	C. 過不足額 (交付額)	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (30.3 末)	実績値 (30.3 末)	最終 目標値	今後の方針
1	ラムサール条約湿地 登録「渡良瀬遊水地」 を活用した地域振興 事業 (平成28～平成30年 度)	単独	<p>ラムサール条約湿地周辺で、環境にやさしい地域産品（ふゆみずたんぼ米、ホンモロコ・ナマズの養殖）の生産を拡大し、併せて遊水地をエコミュージアム化することにより、農業振興と誘客促進を図る。</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡良瀬遊水地エコミュージアム化事業</li> <li>・コウノトリ採餌環境、営巣環境整備推進事業</li> <li>・ホンモロコ・ナマズ養殖事業</li> <li>・渡良瀬遊水地魅力発信事業</li> <li>・観光誘客調査事業</li> </ul>	12,000 (6,000)	12,063 (6,000)	-63 (0)	渡良瀬遊水地・周辺 地区来訪者数 《現況値》20,000 人 (H27 年度)	24,000 人	21,997 人	100,000 人	<p>平成29年度に策定した観光地化推進5 カ年計画をもとに、渡良瀬遊水地への誘 客強化のため、観光地化推進事業を推進 する。</p> <p>また、コウノトリが、現在、渡良瀬遊水 地に滞在していることから、採餌環境の 整備に向けた調査等を実施するととも に、採餌環境及び営巣環境に配慮したエ コミュージアムの環境整備についても、 関係機関と調整しながら実施していく。 一方、ラムサール条約湿地周辺で、環境 にやさしい地域産品（ふゆみずたんぼ 米、ホンモロコ・ナマズ）の生産を拡大 するとともに、ブランド化し販売するこ とで、販路を拡大し地域の振興を図る。</p>
							ホンモロコ漁獲量 《現況値》540.4kg (H27 年度)	1,080Kg	548Kg	1,440Kg	

	事業名 (事業期間)	申請 区分	事業概要	A. 計画額 (交付額)	B. 実績額 (交付額)	C. 過不足額 (交付額)	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (30.3末)	実績値 (30.3末)	最終 目標値	今後の方針
2	新幹線駅を軸とした “移住・定住促進” 広域連携プロモーション事業 (平成28～平成30年度)	広域 連携	新幹線が停車するまちとしての両市の強みを活かし、東京圏在住の両市出身者や子育て世代をターゲットに移住促進プロモーションや移住体験ツアー等を実施することにより、両市への移住・定住を促進する。  【主な内容】 ・移住・定住促進連携PR事業	15,000 (7,500)	14,478 (7,239)	522 (261)	生産年齢人口の増加率 《現況値》-2.71% (H27年)	-0.21%	-3.70%	+2.29%	今年度、3カ年事業の最終年度となることから、情報発信、移住希望者（検討者）とのつながりを持つための施策を引き続き、推進していく。 具体的には移住・定住促進プロモーション動画の制作、WEB・SNS等による情報発信、東京都内での交流イベント・移住セミナー、両市での移住体験ツアーを開催するほか、新幹線駅を活用した移住の足掛かりとするべく、東京圏の企業の調査・両市のPRを実施する。
							転入超過者数 《現況値》+377人 (H26年)	+424人	+877人	+472人	
							新幹線駅の乗客数 (1日平均) 《現況値》5,048人	5,174人	5,080人	5,300人	
							※小山市単独の目標値				
3	ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業 (平成29～平成31年度)	広域 連携	国内初の取組となる県内全域を舞台とした国際レース「ツール・ド・とちぎ」の開催を契機に、県と連携した「自転車によるまちづくり」を進める。また、スタート地点におもてなしブースを設置したり、スタート時のイベントとして地元のダンスクラブのダンスパフォーマンスで盛り上げ、本市の魅力をPRし、一層の観光誘致、地域活性化につなげていく。	1,200 (600)	818 (409)	382 (0)	観光入込客数 《現況値》320万人 (H27年度)	410万人	343万人	500万人	県と連携し今後も進めていく。 スタート・ゴール地点になった場合、更に魅力的なブースやイベントになるよう検討していく。

	事業名（事業期間）	申請区分	事業概要	A. 計画額 （交付額）	B. 実績額 （交付額）	C. 過不足額 （交付額）	重要業績評価指標 （KPI）	目標値 （30.3末）	実績値 （30.3末）	最終目標値	今後の方針
4	「桑・蚕・繭・紬・和装・和食」地域資源で紡ぐ「日本の伝統を生かした総活躍のまち」づくり事業（平成29～平成31年度）	単独	小山市の伝統ある地域資源を生かした養蚕業や本場結城紬産業の振興のため、「桑の葉・桑の実」を活用し新たな特産品の開発を推進するとともに、障がい者等に就労・活躍の場を提供する農福連携事業として実施することにより、桑・蚕・繭・本場結城紬に至る一貫生産による地域の伝統産業に携わる人材の育成・確保とそれらを統合した「和装文化」並びに「和食文化」を合致させた地域経済の活性化を図る。	10,000 (5,000)	6,750 (3,375)	3250 (1,625)	商品の総売上高 《現況値》2,620千円 (H28年度)	3,620千円	4,055千円	6,000千円	原料となる桑の木の増殖に取り組み、商品開発及び生産環境を整え、次年度以降の本格的な事業展開につなげる。 全国でも特に珍しい料理の神様を祀る「高椅神社」において「和装・和食サミット」を開催し、桑・絹地区の地域資源である桑加工商品や本場結城紬の全国発信や販路拡大、地域経済の活性化を図る。
							当事業に携わる障がい者等の就労者延人数 《現況値》0人（H28年度）	6人	13人	12人	
							当事業による耕作放棄地解消面積 《現況値》0ha（H28年度）	0.6ha	0.0ha	2.0ha	
							開発した加工商品数 《現況値》16品目 (H28年度)	22品目	22品目	30品目	

※A…交付金申請時の決定額

※B…事業終了後の精算額

※A, B, Cについては千円単位